

報道関係者各位

2017年7月4日

2018年平昌五輪カーリング日本代表の「SC軽井沢クラブ」 6月30日(金)、大東建託本社を表敬訪問



大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)が支援する、カーリング日本代表の「SC軽井沢クラブ」に所属する両角友佑選手と山口剛史選手が、6月30日(金)、大東建託本社を表敬訪問のため来社されました。

当社は、2014年に創業40周年を記念して、アスリート支援プロジェクト「チーム大東」を立ち上げ、プロジェクトのスタート時より、「SC軽井沢クラブ」を支援し続けています。

「SC軽井沢クラブ」は、2017年の『第34回日本カーリング選手権大会』で見事優勝(5連覇)を果たし、日本の男子カーリングとしては20年ぶりに2018年平昌五輪への出場を決めました。今回の表敬訪問では、チームを代表して両角友佑主将から2018年平昌五輪日本代表決定のご報告、そして「チーム大東」による支援への感謝のお言葉をいただき、当社の代表取締役社長の熊切直美からは激励の言葉を送らせていただきました。



(左から)大東建託代表取締役社長 熊切直美、「SC軽井沢クラブ」主将両角友佑選手、山口剛史選手、常務取締役建築事業本部長 小林克満、執行役員設計統括部長 館正文



「SC軽井沢クラブ」の両角選手と山口選手を囲み、当社社員と記念撮影。平昌五輪での表彰台を約束した。

■「SC軽井沢クラブ」両角友佑主将のコメント

「チーム大東」へ応募させていただいたのは僕で、当時はずっと大東建託さんの賃貸住宅にお世話になってました。その頃の思い出で印象深いのは、シャワーヘッドが壊れてしまったとき、すぐに修理していただき、ありがたいと真剣に思ったことを覚えています。その当時からずっとカーリングを続けていて、こういった機会に大東建託のみなさんと知り合うことができました。そして、そこからずっとカーリングに声援をいただき、背中の後押しだけでなく、20年ぶりのオリンピックまで導いていただいたと思っています。

今、チームはオリンピック出場という目的を達成して、次は表彰台を狙うというところに来ました。あと一步、また背中を押していただいて、みなさんとともに表彰台に上がるつもりで取り組みたいと思います。平昌五輪本番まで8ヶ月。引き続き応援をよろしく願います。

■「SC軽井沢クラブ」山口剛史選手のコメント

たくさんの方に迎えていただき、すごく興奮しています。長く僕たちのチームを支援していただき本当にありがとうございます。僕たちのチームはこの4年間、オリンピックに出場するために頑張ってきました。去年は世界選手権4位。そして今年の世界選手権7位でしたが、日本の男子カーリングとしては20年ぶりにオリンピック出場を決めました。これも、みなさんの応援のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

みなさんは、僕たちのチームの一員、つまり平昌オリンピック日本男子代表の一員だと思っていますので、オリンピックの際は熱く熱く、応援をよろしく願います！どうもありがとうございます！

■社会貢献事業「チーム大東」は、創業40周年を機にスタート

アスリート支援プロジェクト「チーム大東」は、2014年の創業40周年を契機に結成されました。当社のお客様や地域社会のために情熱を注ぎ続ける企業でありたいという思いに合わせ、同じように情熱をもって夢に向かい挑戦しているアスリートを支援するものです。当社のお客様であるオーナー様、入居者様と、当社社員、およびそのご家族から、世界の頂点を目指して頑張るアスリートを募集。現在では42組のアスリートを支援しています。(年間支援総額4,000万円)

「SC軽井沢クラブ」は、当社の管理している賃貸住宅にお住まいだった主将の両角選手が、チームを代表して当プロジェクトにご応募くださり、書類審査・面談を経て、支援に至りました。

当社は、アスリートの直向きな努力や情熱、夢に挑戦し続ける姿が、人に喜びや感動を与え、未来を切り拓く力になると信じ、今後も支援を続けていきます。

【チーム大東HP】<http://team-daito.com/>

<支援協議一覧>

空手、柔道、フェンシング、ロードレース、ゴルフ、BMX、スキー、スキージャンプ、セーリング、テニス、水泳、マンテンバイク、卓球、アイスホッケー、女子野球、体操、フリークライミング、テコンドー、レスリング、ラグビー、バドミントン、ブラインドサッカー、車椅子バスケットボール、車椅子ソフトボール、車椅子卓球、障がい者卓球 など(順不同)

<本件に関するお問い合わせ>

大東建託株式会社 経営企画室 出澤・和賀 TEL:03-6718-9174